

黒田 公一議員

## 防災対策・災害に強いまちづくりについて

いう防災拠点としての機能をこの市庁舎が果たせるかという観点から、大至急検討しなければならないと考えている。

問 減災対策のために、市民の防災意識の醸成や訓練が重要であると考えるが、今後どのように取り組むか。

答 地元、市、警察署、消防団などの関係団体合同で、校区や行政区ごとに避難を中心とした防災訓練を行いたい。また、防災意識を持ついたぐため災害時の携行品、防災機関の電話番号、緊急の連絡先を記載したポスターを全戸配布する。

問 小中学生に対する防災教育について、九州大学と連携し取り組む考えはないか。

答 本年度から九州大学教育学部と教育委員会との連携事業を行っている。今後、防災教育研修会の講演や各学校の防災計画の見直しの際に、九州大学の先生の指導を受けることができないか検討したい。

問 市民の命を守る新たな防災拠点としての新庁舎の整備について、考えを伺う。

答 災害対策 本部のスペース確保、一時避難者の収容などの機能がこれから市の役所には求められる。そう

いざという時には防災拠点となる市庁舎



問 防災無線の音声自動応答サービスが市民に十分周知されていない。また、このサービスの無料化について、考え方を伺う。

答 今、発信者負担となっているシステムについては、早急に受信者負担に切り替えさせていただきたい。

問 消防署で現在、防災メールシステムを握している災害時要援護者（聴覚障がい者など）のうち、希望者を対象に火災緊急放送などの配信を考えおり、防犯など、他の担当部署の放送内容の配信は考えていない。

## 特別委員会が設置されました。

「決算審査特別委員会」では、市の予算執行が、法令・条例・規則等の関係法規に対応して適合しているかを審査します。

また、計数的正誤等のみならず、過去の財政運営を通じて問題点を発見し、将来の財政運営にこれを反映させるといった視点からも検証します。

昨年の「決算審査特別委員会」は9月定例会後の閉会中に審査を行い、12月定例会で認定を行いました。しかし、今年は6月定例会において特別委員会を設置し、行政評議員の視点を取り入れ、決算審査で出された意見を翌年度以降の予算編成の参考とするため、9月定期会会期中に決算審査を行います。

【委員会構成】 議員全員（24名）で構成する。委員長：浦伊三次、副委員長：田原耕一。

**【付託事項】** 平成22年度糸島市一般会計、特別会計及び企業会計の決算を審査【設置期間】 付託事項の調査終了まで



## 議会インターネット中継を行っています。

<http://www.city.itoshima.lg.jp/site/gikai/>

## その他の審議経過

### 議会案

今定例会に提案された議会案は、「意見書の提出」に関するものが3議案提出されました。

▼発議  
● 教育予算の確保と充実を求める意見書  
● 離島振興法の抜本的な改正及び総合的な離島振興策の推進を求める意見書

採決結果は、可決となりました。

## 請願の審議結果

6月定例会で審議した請願は2件です。  
今定例会における審議結果は、次のとおりです。

### 採択

● 前原中学校通学路・危険箇所改善について  
● 教育予算の確保と充実に所改善について

### 採択

● 請願者  
糸島市前原中学校  
父母教師会  
会長  
藤利治 他8名

### 審査報告

この請願は、多交差点および当該交差点につながる市道が生徒の登下校時に交通量が多く、道路の形状により見通しが悪いため、生徒が危険にさらされるとして改善を要望するものです。

採決の結果、委員会・本会議ともに採択と決しています。

採決の結果、委員会・本会議ともに採択と決し、国と関係機関に、糸島市議会として意見書を提出しています。

請願番号	件名	委員会採決結果	本会議採決結果	付託委員会	備考
2	前原中学校通学路・危険箇所改善について	採択	採択	建設産業	
3	教育予算の確保と充実に関する請願	採択	採択	総務文教	国の関係機関に意見書を提出

可決された意見書については、糸島市議会として関係機関（内閣総理大臣や各関係大臣など）に送付しました。